

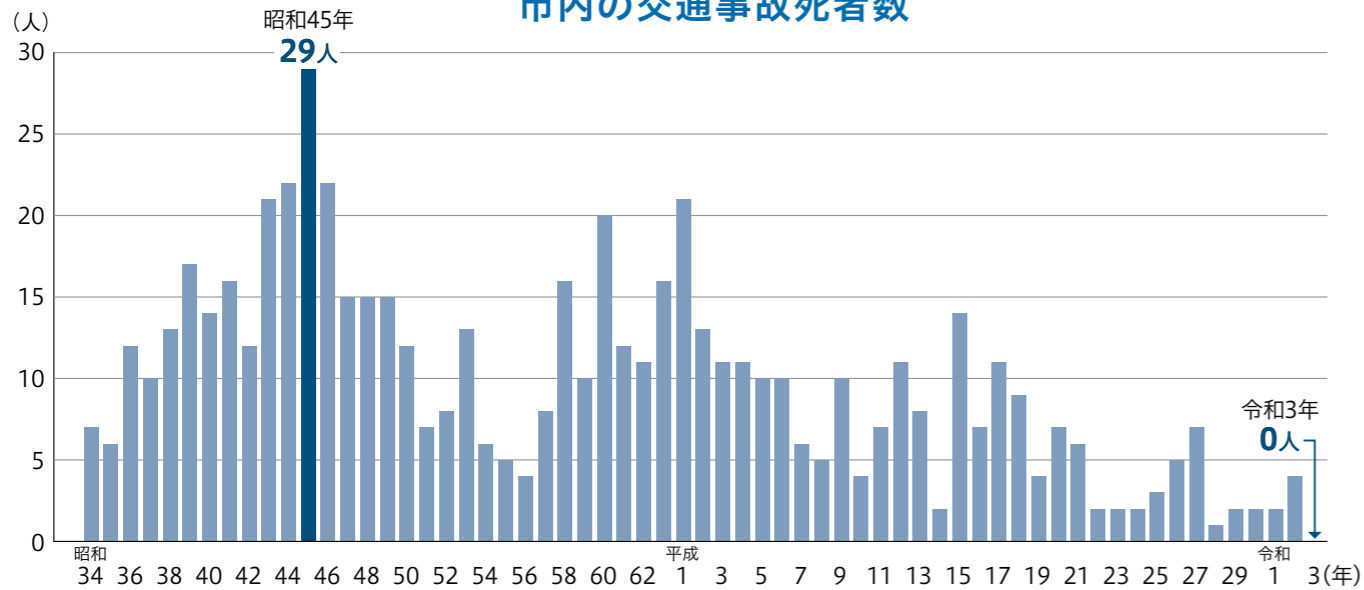
大和市内の 交通事故死者数



市内の交通事故による死者数は令和3年、市制施行(昭和34年)以来初めて0人となりました。昭和45年には最多となる29人が犠牲になり、市はさまざまな交通安全対策を実施してきました。その後は年によって増減があったものの、近年は一桁台で推移。ついに0人となりました。

☎市役所道路安全対策課交通安全・自転車対策係 ☎(260)5118 📠(260)5474

市内の交通事故死者数



※大和警察署提供資料から作成。

交通安全を願い活動するさまざまな団体

- 大和市交通安全対策協議会…地域の各団体と連携しつつ、総合的な交通安全対策を担います。
- 大和綾瀬交通安全協会…交通安全意識を高めるため、飲酒運転根絶を目指したハンドルキーパー運動のほか、運転免許更新時の案内や巡回広報、交通安全功労者への表彰をしています。
- 大和市交通指導員連絡協議会…通学路での見守りや街頭での交通安全指導をしています。
- 大和市交通安全母の会連絡協議会…「交通安全は家庭から」をスローガンに活動。小学校のPTAなどを対象に教室を開くなど、家庭での交通安全教育を促しています。
- 大和市交通安全シルバーリーダー連絡協議会…「シルバー街頭指導」や「体験型自転車乗り方教室」など、高齢の人などの交通事故防止に向けた啓発に取り組んでいます。
- 大和警察署管内安全運転管理者会…大和警察署管内の各事業者の安全運転を目的に啓発活動を実施。各事業者の運転者が参加する「自動車安全運転競技大会」などを開催しています。

市内の交通事故発生件数は平成13年の2,132件をピークに減少傾向にあり、令和3年は716件。ピーク時から約7割減少しました。このうち、高齢者が関係する事故は215件で全体の30%。平成27年(197件)から同30年(276件)まで増加傾向にありましたが、市はシルバー・ドライブ・チェックなどさまざまな施策を実施。直近の3年間は毎年減少しています。このほか、自転車に関係する事故は205件で全体の28.6%を占めています。

交通事故発生件数も減少傾向 高齢者関係事故も

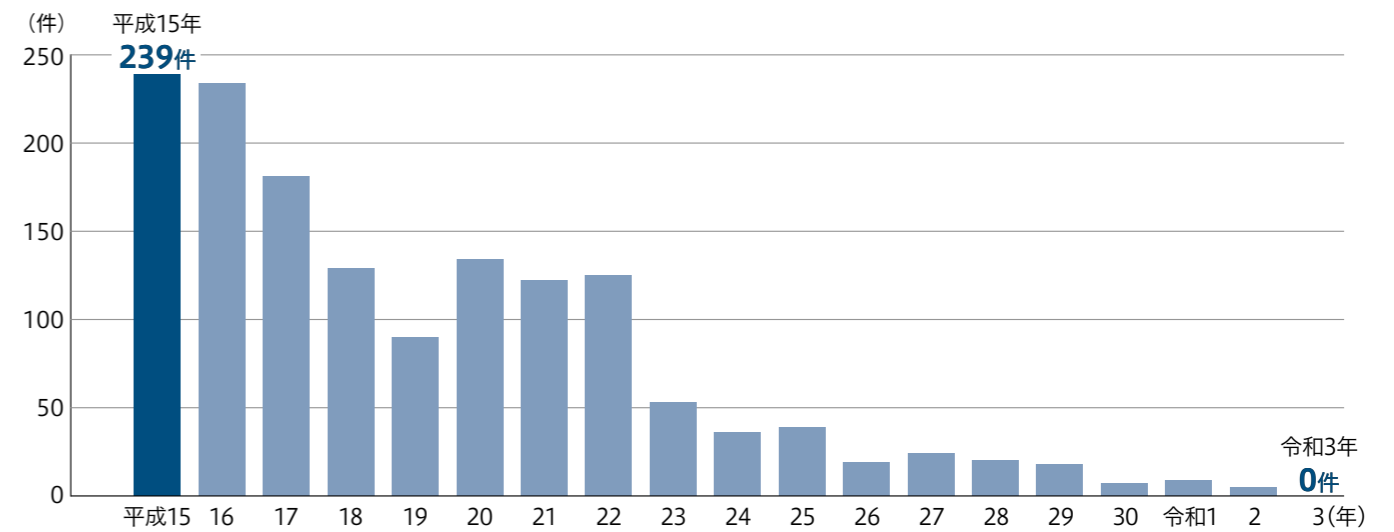
大和市内の ひったくり



平成15年には市内で239件発生していたひったくり。その後、市は防犯カメラや防犯灯の設置を進めるなど、さまざまな対策に努めてきました。そして令和3年、市内の発生件数はついに0件に。市は今後も、ひったくりを含む犯罪の防止に取り組んでいきます。

☎市役所生活あんしん課防犯対策強化推進係 ☎(260)5048 📠(260)5138

市内のひったくり発生件数



※大和警察署提供資料から作成。

犯罪認知件数も大幅減

減少傾向にある市内の犯罪認知件数。令和3年は前年比120件減の1,051件で、平成15年の6,427件と比べると約6分の1に減っています。犯罪種別では、窃盗犯が765件で最多の72.8%。中でも自転車盗が221件で、その28.9%を占めています。令和3年の件数はいずれも暫定値。

防犯カメラ、防犯灯を増設

令和2年度、市内公園のトイレ付近29か所に計58台の防犯カメラを新たに設置するなど、増設を進めています。現在、街頭防犯カメラ設置数は909台(373か所)で、犯罪抑止を目的とした街頭防犯カメラとしては県内の自治体でトップクラスです。また、市内道路の防犯灯も増設。3月末時点で1万3,377灯を設置済みで、体感治安の向上と犯罪抑止に役立っています。



青色防犯パトロール白黒車両を増車

公用車に青色防犯灯を装着してパトロールしています。その効果を高めるために、白黒塗装車両を着実に増やし、3月末時点で、青色防犯パトロール車105台、うち75台が白黒塗装車両となっています。